

第21回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 昭和54年12月12日（水）  
午後2時～4時

2. 場 所 宇宙開発委員会会議室

3. 議 題 (1) L-4SCロケット5号機の打上げ結果の評価について（報告）

説明者 第四部会長 佐貫亦男

(2) 第一次材料実験テーマ選定特別部会の設置について

(3) 昭和54年度1～2月期人工衛星打上げ計画について

説明者 東京大学宇宙航空研究所教授 秋葉鏖二郎

” ” ” 東口実

宇宙開発事業団副理事長 鈴木春夫

郵政省電波監理局

宇宙通信開発課長 三浦信

4. 資 料

委21-1 第20回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）

委21-2 L-4SCロケット5号機の打上げ結果の評価について（報告）

委21-3 第一次材料実験テーマ選定特別部会の設置について（案）

委21-4 第一次材料実験テーマ選定特別部会構成員（案）

委21-5 昭和54年度第2次観測ロケット実験計画概要（案）

SESノート K-№591

委21-6 M-3S-1号機の実験 SESノート K-№592

委21-7 実験用静止通信衛星（ECS-b）打上げ及び追跡管制計画書

委21-8 実験用静止通信衛星（ECS）実験基本計画書

参考配布 第1次材料実験テーマ応募概況

昭和54年度1、2月期ロケット打上げ計画一覧表

12月2日 宇宙開発委員会議事進行表

昭和54年度1~2月期打上げ計画フリス発表計画

議題	説明者	時間	フリス発表態様
1 L-4SCロケット5号機の打上げ結果の評価について (報告)	佐倉亦男 材料部長	20分	投込み
2 第1次材料実験テーマ選定特別部会の設置について (決定)	宇企課長	20分	投込み
3 昭和54年度1~2月期人工衛星打上げ計画について			
(1) 東京大学 試験衛星(MS-T4)の打上げ計画について (了承)	秋葉教授 森教授 東川	20分	レク 資料 (昭和54年度2次観測 目的実験計画概要(案) MSS-1号機の実験 130部未満前日 あたり持参)
(2) 宇宙開発事業団 実験用静止通信衛星 (ECS-b)の打上げ計画等 について (了承)	鈴木副理事長 長島 打上管制部長 船川 追跡 田畑 衛星設計課長	20分	レク
(3) 郵政省 実験用静止通信衛星 (ECS-b)の実験計画について (説明)	本用 資料	10分	立合 実験用静止通信衛星(ECS)実験基本計画書(案) 本用 実験用静止通信衛星(ECS)実験計画概要(案) フリス用

1 試験衛星(MS-T4)の打上げ計画等について  
 委員会了承後、第1フリス説明、その後第2フリス説明  
 了承の報告 ----- 宮樫 ※ 本資料 + 追加資料  
 (平尾教授 発表委員)

2 実験用静止通信衛星(ECS-b)打上げ計画等について  
 (1) 委員会了承後、第1フリス説明  
 了承の報告 ----- 宇企課長  
 打上げ計画のレク ----- 副理事長及び打上管制部長  
 実験計画 ----- 郵政省職員 (速水補佐, 林文川衛星研究室長)  
 フリス用要約資料も用意

(2) 第1フリス説明後、第2フリス説明  
 了承の報告 ----- 大須賀  
 打上げ計画のレク ----- 打上管制部長

※ レク資料としては、各打上計画書、実験計画書以外、昭和54年度1~2月期人工衛星打上げ計画一覧表も配布

三浦年廣通信開発課長  
生島安三郎電波研究所長

# 委 21-1

## 第 20 回宇宙開発委員会（定例会議）

### 議 事 要 旨（案）

1. 日 時 昭和 54 年 12 月 5 日（水）  
午後 2 時～4 時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) 実験用静止通信衛星「あやめ」の予備衛星  
打ち上げのために講じた対策について（報告）  
(2) M-3S ロケット 1 号機の打ち上げに係る安全対策について（報告）

#### 4. 資 料

- 委 20-1 第 19 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）  
委 20-2 実験用静止通信衛星「あやめ」の予備衛星打ち上げ  
のために講じた対策について（報告）  
委 20-3 M-3S ロケット 1 号機の打ち上げに係る安全対策  
について（報告）

#### 5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理

宇宙開発委員会委員

〃

〃

説明者

第三部会長代理

第四部会長

関係省庁職員等

科学技術庁長官官房審議官

吉 識 雅 夫

山 内 正 男

八 藤 東 禰

斎 藤 成 文

河 崎 俊 夫

佐 貫 亦 男

神 津 信 男

文部省学術国際局審議官

通商産業省機械情報産業局次長

〃 工業技術院総務部長

運輸省気象庁総務部長

郵政省電波監理局審議官

建設省大臣官房技術参事官

東京大学宇宙航空研究所

宇宙開発事業団システム計画部

〃 〃

〃 衛星設計第 1 グループ

〃 信頼性管理部

〃 ロケット設計グループ

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

〃 〃 宇宙国際課長

〃 〃 宇宙開発課長

大 崎 仁

（代理：池之上）

杉 山 和 男

（代理：吉田）

保 阪 勘 次

（代理：高橋）

相 良 英 明

（代理：山中）

嶋 光 一 郎

（代理：左藤）

高 秀 秀 信

（代理：土肥）

渡 辺 清

炭 野 豊 治

松 浦 雅 洋

石 沢 禎 弘

岡 村 助 男

原 宜 一

佐々木 寿 康

佐 藤 允 克

鈴 木 晃

他

#### 6. 議事要旨

##### (1) 前回議事要旨

第 19 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨案が確認された。

(2) 実験用静止通信衛星「あやめ」の予備衛星打上げのために講じた対策について

佐貫亦男第四部会長より、資料委20-2に基づき説明が行われた後、第四部会報告書が了承された。

(3) M-3Sロケット1号機に係る安全対策について

河崎俊夫第三部会長代理より、資料委20-3に基づき説明が行われ、以下の質疑応答の後、第三部会報告書が了承された。

吉識：安全対策の実施に当たつての留意事項として、3項目掲げられているが、これらは従来の報告書にも掲げられていたものか。

河崎：(1)と同様の内容のものは、従来の報告書にも書かれていたが、(2)、(3)は今回新たに付け加わつたものである。特に(3)は今回新規に導入された計算機システムの運用に対する注意事項である。

八藤：第1段及び第2段の落下予想区域を航空路が横切つているが支障はないのか。

河崎：第1段落下予想区域には1つの定期航空路が、第2段落下予想区域には1つの非定期航空路が横切つているが、必要に応じて航空交通管制機間が航空機の航行時間とロケットの発射時刻を調整することによつて安全を確保することになっている。